

土成中学校「学力・学習状況」改善プラン

1 学力向上推進員 職・氏名（教諭・川人 初恵）

2 学力向上検討委員会構成

職名	氏名
校長	稲井 政人
教頭	多田 智子
教務主任	鈴木 真二
研修主任	川人 初恵
学年研修係	井内 哲也
学年研修係	中井 千秋
学力向上推進委員	川人 初恵

3 現状・課題

学 力	<p>昨年度の取り組みでは、全教科を通じて基礎的・基本的な知識・技能の向上を目指し、自ら学び考える力・表現力を育成することを目標に行った。それによって授業への取り組み方や、関心・意欲・態度の向上した生徒が増加した。全国・県学力調査でもみられた傾向であるが、基本的問題に対しては充分理解ができていない生徒も多いが、思考力をともなう問題や、考えを文章で表現する力が十分でない生徒も少なくない。そこで、一人一人の生徒の課題に合わせた支援を行い、個々の学力を伸ばすことが必要であると思われる。また、表現力・コミュニケーション能力をつけるための教育内容の工夫も必要である。</p>
学 習 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書が定着し、いつでも読書ができる環境を整え、各教室に本のコーナーを設置しているため、昼休みなどを利用して読書に親しむ生徒が増えている。 ・学習に真面目に取り組む、自主的に学習課題にも意欲的に取り組むことができている。 ・授業中に進んで自分の考えや意見を言う生徒が少なく、発言時の声が小さい生徒がみられる。 ・家庭学習の習慣が付き、家で落ち着いて学習に取り組んでいる生徒が多い。 ・興味をもったことや、わからないことに対して自分で進んで調べ問題を解決しようとする生徒もいる。

4 目標等

(1) 学力について

重点目標：全教科を通じての「学力向上」をめざす				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
各教科において「基礎・基本的な力」の定着を図る。	授業研究を深め指導方法の改善をし、定期テストや基礎学力テストにおいて平均点を60点以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態把握する。 ・指導方法の見直しと改善をしきめ細かい指導と取り組みを継続する。 ・漢字を毎日書く。 ・朝の読書の時間にしっかり読書ができるようにする。 		
基本的な生活習慣の確立	全職員と情報交換を密に取り、生徒のアンケートの結果が「できる・できた」を80%以上を目標とする	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に必要な物を忘れない、チャイム着席、準備物の用意等の習慣化を図る。 ・話や説明をしっかり聞く態度を育成する。 ・早寝・早起きができ、朝食をきちんと食べるよう指導する。 		
学習習慣の定着	自主学習・宿題セミナーの提出率100%をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携しながら、家庭学習時間の確保定着化を図る ・自主学習・セミナーを毎日提出させ、チェックする。 		

(2) 学習状況について

重点目標：主体的に学習に取り組み、自分の考えや意見を効果的に表現する力・コミュニケーション能力を育成する。				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
自分の考えに根拠を持って、相手に伝わる話し方ができる。	授業で発表できる（指名も入れる）生徒が70%を超える。	<ul style="list-style-type: none"> ・各授業ごとの課題を教科担任は、明確にする。 ・生徒に対する設問をわかりやすくする。 ・意見を交わす機会や発表する機会を多くする。 ・発表する前に、自分の考えや意見を書かせる。 ・朝の会・帰りの会などで発表する機会をつくる。 ・相手に伝わる声の大きさとで発表するように指導する。 ・語い力をつけるために、辞書を使ったり読書をする機会を増やす。 		

※評価欄の上段には、各具体的目標における数値目標の達成状況について記入する。下段には、達成状況を「4 十分できた 3 概ねできた 2 あまりできなかった 1 できなかった」で判断し、該当番号に○を付ける。